

epoch

エポック No97

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～

平成28(2016)年9月 発行

第11期第2回概要報告

平成28年7月21日(木)、第2回千代田区生涯学習推進委員会議が開催されました。
7月5日より開始された「ちよだ生涯学習カレッジ」の学生入学募集について、募集内容と説明会開催の報告と意見交換を行いました。さらに、平成30年から開設となる2コース目の学科等について話し合いました。

以下、概要をお伝えいたします。



「ちよだ生涯学習カレッジ」入学募集について

1. 募集開始年月日

平成28年7月5日(火)～8月19日(金)

2. 広報ツール

- ①「ちよだ生涯学習カレッジ」第1期〔2016〕入学募集案内
- ②「ちよだ生涯学習カレッジ」ちらし
- ③「ちよだ生涯学習カレッジ」ポスター
- ④広報ちよだ7月5日号(第2面)
- ⑤「ちよだ生涯学習カレッジ」専用ホームページ
(千代田区ホームページ、千代田区公式フェイスブック・ツイッター、九段生涯学習館ホームページからリンク)

3. 「ちよだ生涯学習カレッジ」ロゴ



～「ちよだ生涯学習カレッジ」の(chiyoda)と(college)の頭文字 CC を用いてつながりや循環を示す輪を表現～

※入学募集案内の表紙や専用 HP に掲載



説明会について

1. 日にち

平成28年7月20日(水)、8月3日(水)

2. 時間

19時～20時30分

3. 会場

九段生涯学習館 3階第一学習室



4. 主な説明事項

「ちよだ生涯学習カレッジ」開校までの経緯、カレッジの理念や方針、申込み方法、卒業要件、カリキュラムの特徴等。

5. 参加者からの主な質問

- ・「ちよだ生涯学習カレッジ」がモデルとした他の大学はあるのか
- ・選考はどのようなかたちで行われるのか

2コース目の学科について

平成30年10月より開設される2コース目の学科の具体化に向け、第10期より交わされている検討経緯の情報共有を行うとともに、事務局より3つの分野の素案を提示し、委員から意見を頂きました。

【第10期の経緯】

①第5回会議

(仮称)生涯学習大学の2コース(案)が決定

- ・生涯学習コーディネーター養成コース
- ・ボランティア養成コース

②第9回会議(1)

●1コース目が決定

- ・学びと地域のコーディネーター養成コース

③第9回会議(2)

●2コース目の候補として3つの(素案)が決定

- ・おもてなしのコーディネーター(養成)コース
→千代田区の観光をリードする
- ・和のコーディネーター(養成)コース
→日本の伝統文化やUNESCO無形文化遺産である「和食」を伝える
- ・暮らしと地域のコーディネーター(養成)コース
→環境・福祉・防災などの暮らしに関わる

【第11期：事務局からの(素案)】

▽おもてなしや観光の分野

キーワード：「おもてなし」「観光」× 千代田区

千代田区ならではの何かしらに特化したボランティアガイドが考えられる

(例)◎江戸城があったことから、江戸に特化したガイド

→卒業後、既存の「江戸歴史散歩ボランティアガイド」等で活動

◎大丸有があることから、街歩きに特化したガイド

→卒業後、既存の「丸の内ウォークガイド」等で活動

課題：千代田区観光協会とどのように絡んでいくか



▽和文化・日本文化の分野

キーワード：「和」×「地域」× 千代田区

知識等の習得だけではなく、皆が元々持ち合わせている知識や技能を活かし、そこから新しい価値を創造・発信させたい。まずは「衣」「食」「住」に分類

(例)◎衣・・・着物や古典芸能 ◎食・・・和食 ◎住・・・建築や工芸

課題：「和」といっても範囲は多岐にわたるので、どのように特化し魅力を見出していくか

▽暮らしと地域の分野

キーワード：「生活」×「地域」× 千代田区

生活と地域という生活に一番密着したところで環境や福祉、防災などの地域、もしくはどれか一つの分野に特化させる。

課題：生活に密着した部分が多いため、既存の組織やボランティアが存在する。それら関連する方々との兼ね合いにどのように配慮していくか。

【質疑応答・自由意見など】

○「おもてなしや観光の分野」について、千代田区には歴史の舞台となる様々な建物もあるので、「この建物の前には元々何があった」「そこでは誰がよく歩いていた」といったことを勉強できれば魅力的だと思う。

○「和文化・日本文化の分野」について、千代田区には商業関係の組合がたくさんあるので、そこでご商売されている方々と区民とを繋げるコーディネーターを養成すれば、カレッジの規模が大きくなった時に、千代田区の経済的な活性化にも繋がるのではないかと。

○2コース目は「もう少し具体的に活動したい」という人向けのアプローチなのか。
⇒そこまでは決めつけていない。

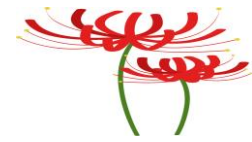
○2コースを受講しても1コース受講しても、どちらでも良いのか
⇒1人の人が2コースを受講してしまうと、より多くの方に学んでいただく事が難しくなるため、現在のところ2コース選択は想定していない。

○1コースにしても、選択科目のようにして他のコースに一部分だけ参加できるようなシステムがあっても良いと思う。



○私は千代田区で生まれ育った区民であるが、区内に引っ越してきて日が浅い人や在勤者を主な対象とするのであれば、ぜひ町会の重要性を学んでいただきたい。例えば防災でも、町会が核となり活動しており、町会加入をして初めて防災訓練の存在を知ることもある。

そこから消防団に入ってみようかと考える方も出て来るかもしれない。



○「おもてなしや観光の分野」では、未経験者が2年間で3か国語を習得するのは現実的ではないと思う。それよりも、翻訳アプリなどを駆使しておもてなしが出来る人材を育成する方が、3か国語以上を扱えることにも成り得るので効果的である。また、観光案内の際は日本人同士、日本人と外国人同士でも、相手を不快にさせない言葉遣いが基本となる。よって、正しい・美しい日本語の習得に力を入れるべきだ。

○「暮らしと地域の分野」では、震災などの混乱した状況下で物事を的確に判断し、コーディネートできる人材を育成出来たら良いと思う。単なるサークル活動ではなく、知識や技能をきちんと学んでいくべきである。



○「おもてなしや観光の分野」について、半日や夜間など、限られた観光時間しか持っていない人向けの観光プランを提供できる人材の養成をすると良いのではないかと。そうすれば、観光本には書いていないような、生きた観光へと繋がると思う。

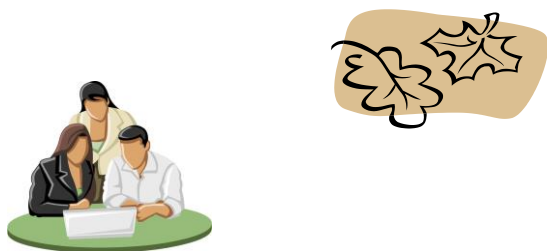
○古典も含めて日本語の部分からしっかり関わっていけると、とても良いと思う。

○当カレッジで習得した成果を、書物の上で発信できるコースにしたらどうか。日本人や外国人、また、千代田区在住者でもカレッジの事を知らない人もいます。そういった方々へ広く発信可能なカリキュラムを組み、卒業後の活動へ活かしていくのが良いのではないかと。

○最近はお寿司の握り方について学びたがっている外国人が大勢いると聞いたことがあるので、そういったプランを用意するのも良いと思う。

○近年、外神田や秋葉原等へ観光で来る外国人が、「学生ホテルへ宿泊するのが夢だった」と話していたり、ロボットレストランというものに興味を抱いていることを知った。日本人と外国人では楽しみ方の角度に違いがあると思うので、おもてなしや観光分野の対象者を選ぶことは凄く難しいと感じる。

→対象者の例外を外国人に限らず、地域の方でも上記のようなものに関心をお持ちの方が居るかもしれない。その辺を視点としていくのも面白いと思う。



～編集後記（事務局より）～

今号も、お読み頂きありがとうございました。主に2コース目の学科について委員の皆様より頂いた多角的なご意見を中心にお送りいたしました。今後の検討に向けた良い弾みとなったと思います。次回の第3回会議では、学則や卒業後の展望について議論を深めていきます。

また、リレー随筆をご担当頂いた服部委員へ心より御礼申し上げます。次回エポックもよろしく願いたします。

ーリレー随筆 No.2ー

「千代田区の持つ可能性について」

服部 元

今回、私は千代田区生涯学習推進委員のご縁をいただくにあたり、改めて千代田区にて実施される教育の効果について思索を行いました。なぜなら、私にとって駿河台は父祖の地であり、御茶の水美術専門学校は、創立以前は私の曾祖父、服部廣太郎の私邸だったからです。

日本には、旧くから町内会に代表される地域ごとのコミュニティがあり、本来ここが生涯学習を担ってきました。しかし、情報収集が容易になった今、人々は社会情勢に左右されながらも移動を繰り返し、従来にない新しいコミュニティを形成するようになりました。特に日本の中心である千代田区では、移住者の集中と拡散が繰り返され、新旧コミュニティが入り乱れている状況にあると言えます。

ここで、教育に携わる者として、千代田区の持つ教育の可能性について検討したいと思います。まず、昼間人口が多いことは、複数の人間が集まりコミュニケーションを促進できる状況にあることを意味します。次に、多様な職種や立場の人間が集まっていることは、互いの価値観を交換し合える機会が存在していることを意味しています。そして、移住者の多さは、幅広い世代の人間が集まり、互いの体験を共有できる契機が訪れたことを意味しています。千代田区ほど多様性に満ちている地域は他にありません。私は、生涯学習を通じて千代田区に縁がある多くの人々が共に学び合い、人と出会う喜びを何度でも体験できる場になるよう願っています。

【編集／発行】

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課 〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
TEL：03-5211-3632 / FAX：03-3264-1466 / Mail：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp